

2024(令和6)年度 事業報告書

2024(令和6)年4月1日から 2025(令和7)年3月31日まで

特定非営利活動法人 C・キッズ・ネットワーク

1. 活動の成果

- ・ 当会は1997年に任意団体で活動を始め、2009年にNPO法人となった。この間、同じ志を持ったメンバーが集まり活動を行ってきたが、会員自らの体調の変化、家族の介護、就職などの事情で退会、休会する会員もいて、講師活動をできる会員も減少気味である。このような状況にはあるが、今年度は出前講座事業、研修事業、支援事業合わせて410講座を実施した。夏休みなど多忙な時期は一日に2、3講座をこなすこともある。
- ・ 託児・食育ボランティア、教員、地域の民生委員や自治会長、障がい者サポーターなどを対象に研修を行った。これらのリーダーを通し、多くの方々に消費者教育が届けられ、消費者被害を未然に防ぐことができる。
- ・ 食、環境、金銭、SDGsなどのプログラムを学ぶことで自主的かつ合理的に行動できる消費者を育成するという会のミッション達成に向け、今後も活動を続けていきたい。

2. 特定非営利活動に係る事業

消費者教育出前講座事業

- ・ 2024年度は396講座を実施し、11,289人が受講した。
- ・ 夏休みの学童保育児童対象講座は宝塚市、湖南省、伊丹市などから依頼があり、62講座実施し、1,421人の子どもたちが受講した。講座の申し込みから実施までの限られた日程の中で講師の決定、教材の準備や受け渡しの検討、企画書の作成、練習会の実施など多くの準備作業を行わないといけないが、無事に講座を終え、子どもたちから笑顔で「ありがとう」と言われると疲れも吹き飛んでしまう。
- ・ 特別支援学校からは毎年継続して講座依頼がある。今年度改良した「楽しいやりくり」の講座は7講座、就労障がい者対象の講座も11講座と増えた。悪質商法や契約に関する講座、金銭教育の講座依頼が多い。



宝塚市・学童保育
「環境マークパズル」
2024/7/25



湖南省・学童保育
「知って使おう!カードいろいろ」
2024/7/26



とよなか障害者就業・生活支援センター
「楽しいやりくり」
2024/9/28

依頼者別講座数

	センター・依頼者名	講座数	主な対象者	受講者数
兵庫県立の 消費生活 センター	消費生活総合センター	13	高校生・一般・親子	209
	中播磨	7	中学生・高校生(特別支援)	181
	西播磨	7	高校生(特別支援)・要支援者	93
	東播磨	2	高校生(特別支援)	14
	淡路	4	高校生(特別支援)	96
	丹波	1	高校生	95
県内市町の 消費生活 センター	宝塚市	73	学童・高校生・一般・高齢者	1,642
	西宮市	31	未就学児・小学生・一般・高齢者	864
	伊丹市	22	学童・小学生・一般・高齢者	469
	明石市	21	小学生	572
	川西市	9	未就学児・高校生・親子	768
	姫路市	8	小学生・中学生・高校生	1,167
	三田市	3	一般・高齢者	92
	尼崎市	2	一般	83
県外の 消費生活 センター	豊中市	34	小学生・中学生	1,083
	東大阪市	27	未就学児・小学生・中学生・一般・高齢者	558
	岐阜県輪之内町	14	小学生・中学生	283
	湖南省	9	学童	213
消費生活 センター 以外	コープこうべ	45	一般・小学生・親子	465
	播磨町産業環境課	13	小学生・中学生・親子	672
	ひょうごエコプラザ・ひょうご出前環境教室	8	未就学児	175
	全国消費生活相談員協会	7	未就学児・小学生・中学生・高校生	462
	多可町生活安全課	6	未就学児・一般	115
	神戸子どもエコチャレンジ21 倶楽部	5	学童	89
	奈良県金融広報委員会	4	親子	133
	尼崎市立武庫小学校	3	小学生	87
	三田市いきいき高齢者支援課	2	高齢者	120
	とよなか障害者就業・生活支援センター	2	要支援者	48
	すいた障がい者就業・生活支援センター	2	要支援者	16
	その他12カ所	12	小学生・一般・高齢者・要支援者・親子	425



伊丹市消費者カアップ講座
「しっかり読み取る食品表示」
2025/1/22

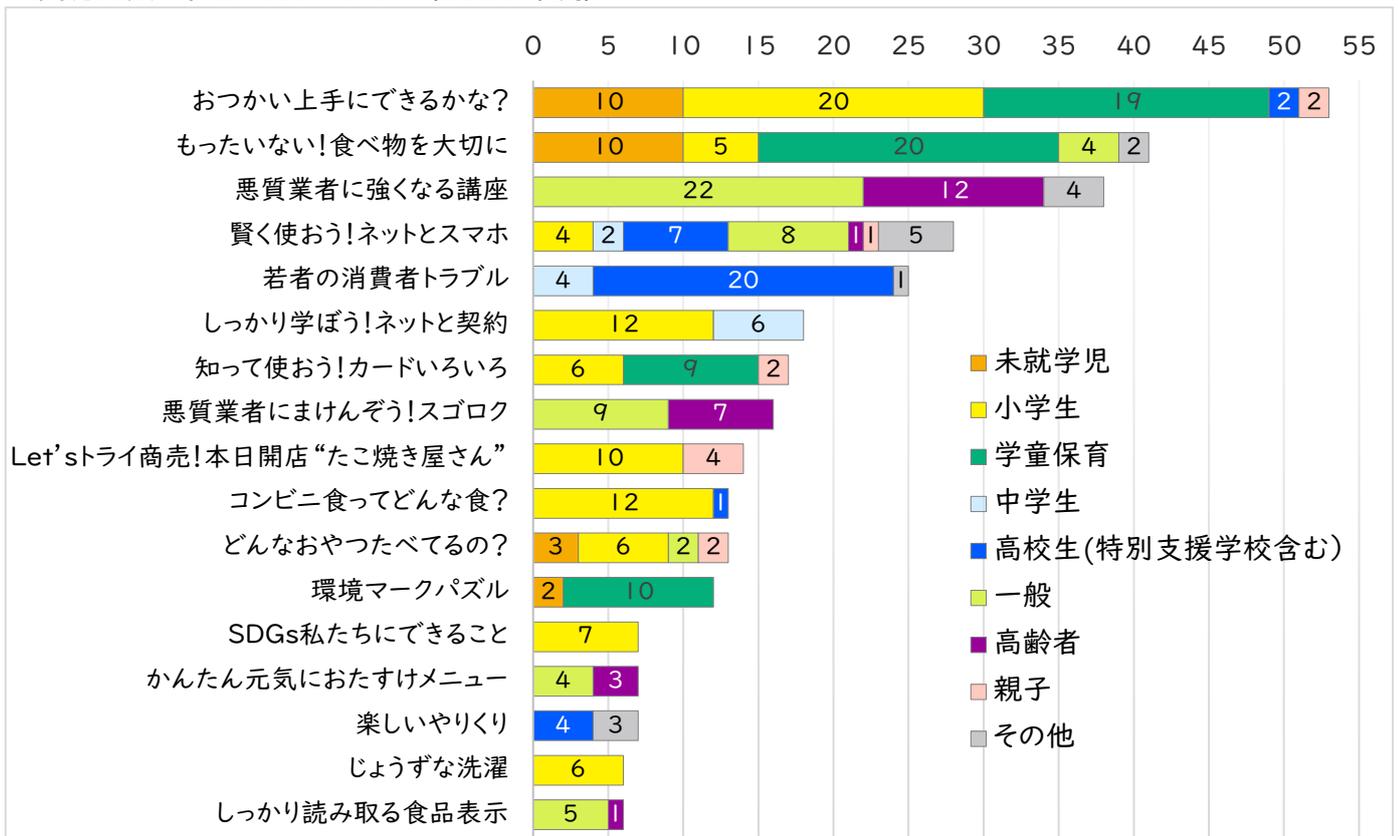


特別支援学校
「若者の消費者トラブルと対処方法」
2025/2/7

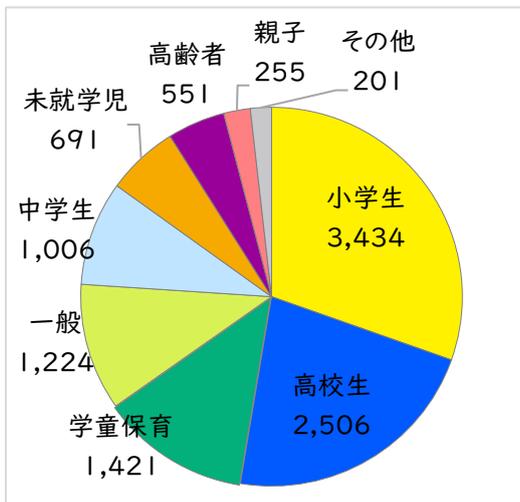


春休み親子マネー教室
「知って使おう!カードいろいろ」
2025/3/27

実施回数の多かったプログラム(2024年度)



対象者別受講者数



対象	人数	講座数
小学生	3,434	112
高校生	2,506	36
学童保育	1,421	62
一般	1,224	83
中学生	1,006	15
未就学児	691	33
高齢者	551	26
親子	255	14
その他	201	15
総計	11,289	396



宝塚市・学童保育
「おつかい上手にできるかな?」
2024/8/5



宝塚市・学童保育
「もったいない!食べ物を大切に」
2024/7/24



特別支援学校
「賢く使おう!ネットとスマホ」
2025/2/13



川西市・夏休み親子講座
「Let'sトライ商売!本日開店“たこ焼き屋さん”」
2024/7/31

消費者教育研修事業

外部向け研修

下表のとおり、託児・食育ボランティア、障がい者サポーター、中学校教諭など消費者教育を担うリーダーを対象とした研修を行った。担い手を通して多くの方に消費者教育が届けられ、また、消費者被害を未然に防ぐことができる。

日	開催地	対象	受講者数	内容
6月27日 6月29日 2月2日	伊丹市 宝塚市	託児ボランティア	37名	子どもの安全「成長と共に危ない!は変わる」
9月4日	豊中市	中学校 技術家庭科教員	15名	「しっかり学ぼう!ネットと契約(実践編)」
10月7日	宝塚市	民生委員	83名	「悪質業者に強くなる講座」
10月10日	宝塚市	権利擁護サポーター	7名	「消費者被害の現状～判断力が不十分な人の被害と対応～」
11月12日	神戸市	消費者団体	9名	「消費者トラブル防止策～地域にあなたの手を～」
11月30日	伊丹市	食育ボランティア	15名	「食べ物を大切に!を伝えられる人になろう」
12月18日	宝塚市	ケアマネジャー	11名	「悪質業者に強くなる講座」
2月19日	多可町	地球温暖化対策 推進委員	18名	「楽しい省エネ生活」
2月22日	三田市	自治会長	13名	「身近に潜む詐欺・契約トラブルについて学ぶ」

会員向け研修

当会会員による研修を2回実施した。

日	テーマ	ファシリテーター・ 講師	参加者	内容
5月25日	人権研修	当会 会員	12名	出前講座実施時における 注意点
5月25日	スマホの画面を示す講座の 方法	当会 会員	12名	

- ・ 例会における5分間スピーチ：担当者は限られた時間内に分かりやすく伝える練習として、参加者は情報収集の一環として実施した。
- ・ 例会における改良プログラムのデモ：担当者は講座練習となり、参加者は対象者となることで講師として注意すべきことを学んだ。

消費者教育支援事業

神戸女子大学心理学部「心理学研究総合演習」に消費者教育を取り入れることとなり、当会が講座を行うことになった。その講座で消費者トラブルの現状を学び、学生自らがトラブル防止の啓発講座プログラムを作成し、当会会員向けの発表会を行った。

また、学習内容を踏まえ、啓発キャッチフレーズを考え、兵庫県立消費生活総合センターとのコラボで啓発用グッズの作成を行った。



消費生活情報プラザ
啓発グッズ発表
2025/1/10

啓発キャッチフレーズ

「焦る Pay(支払い)が思わぬ Pain(痛み)に
すぐに 188 にかけてよう」



啓発キャッチフレーズ入りの
ウエットティッシュ

消費者教育教材及びプログラム開発並びに提供事業

「楽しいやりくり」プログラム改良

特別支援学校などで行っている金銭教育の改良を行った。これまでホワイトボードに掲示する教材を使用していたが、パワーポイントを使用することで教材を減らし軽量化を図った。受講生が行うワークは従来通りの教材を使用し体験型を残した。さらに、既存プログラムの「給与明細を知ろう」をロールプレイとカードを用いた 15 分のサブプログラムに改良し、就労障がい者の講座で活用した。



パワーポイント
スライド

「省エネすごろく for キッズ」改良

小学校低学年向け、未就学児向けのすごろくをリニューアルした。

スゴロクの文言や内容を見直すとともに、未就学児向けにはルールを簡単にした。

「知って使おう!カードいろいろ」(学童向け)改良

シナリオの見直しを行い、プログラムに歌とダンスを取り入れた。

「環境マークパズル」改良

現状にあわせて、講座シナリオ、紹介するマークの見直しを行った。

「楽しい省エネ生活」「しっかり読み取る食品表示」「若者の消費者トラブル」

講座シナリオを見直し、パワーポイントスライドのデータ更新、説明の修正・追加を行った。

教材提供事業

学童保育の講座では、講座内容の振り返りができる「おみやげ教材」を提供した。

「悪質業者にまけんぞう!スゴロク」などを有効活用していただけるよう講座時に紹介し提供した。

イベントの企画及び提供事業

開催日	場所	名称	内容
11月9日	西宮市	消費生活展	「環境マークパズル」をテーマにクイズ、パズル、工作コーナーを設置。80人参加
9月17日～ 24日	宝塚市	環境都市宝塚推進 市民会議 パネル展	「食べ物がどこから来たのか考えよう!」パネル展示
9月26日～ 10月3日	宝塚市	食育推進会議 パネル展	「食料自給率について考えよう!」パネル展示
2月12日 ～20日	宝塚市	環境都市宝塚推進 市民会議 パネル展	「フードマイレージと食料自給率について考えよう!」 パネル展示



西宮消費生活展
2024/11/9



パネル展で使用した
ポスター

消費者相談事業 調査研究・情報収集及び提供事業は休止

消費生活情報プラザの運営に関する事項

- ・ 兵庫県から委託を受け、消費生活情報プラザの運営を行っている。アドバイザーを配置し、窓口業務、利用者への助言、消費者啓発講座を実施している。
- ・ 2024年度は、消費生活講座(会場参加・オンライン参加・見逃し配信あり)12回、こども生活講座2回、消費者力アップ体験学習会6回を実施、中高生向けの消費者情報メールを3回発行した。また、講座の会場参加者にミニレクチャーを4回実施した。
- ・ 特別支援学校への出前講座は10講座実施した。



夏休みこども生活講座
「かしこく使おう! ネットスマホ」
2024/8/1



消費生活講座 有賀敦紀氏
「だまされないための心理学」
2025/1/31



SDGs講座後 ミニレクチャー
風呂敷の活用
2024/10/28

3. 事業実施体制

管理運営・会議に関する事項

通常総会

開催日 2024(令和6)年5月25日(土)
開催場所 西宮市
出席者 25名(うち表決委任者12名 ※会員総数42名)
議事内容 2023(令和5)年度 事業報告、決算報告の承認

理事会

開催回数 合計11回
開催場所 オンライン

例会

開催回数 合計9回
開催場所 西宮市5回、神戸市4回

会員の状況

会員 39名
賛助会員 3名 (2025年3月31日現在)

事務所運営

週3日 事務担当1名
会への問い合わせ対応、会計事務、各種書類作成、教材管理など

広報活動

広報紙 年1回発行
ホームページ 活動レポート随時更新 <http://ckids-net.org/>

